

# Ⅱ 11の特別対策事業の 点検結果の総括

# 1 11 の特別対策事業の総括（まとめ）

## 全体の総括

施策の点検・評価の役割を担う県民会議では、事業の進捗状況、モニタリングの調査結果、県民視点からの事業モニターや県民フォーラムの意見などを踏まえて、11 の特別対策事業の多面的な評価を行った。

第3期5か年計画の初年度となる平成29年度における11事業全体の事業費の執行状況ならびに事業進捗については、一部の取組を除き、概ね計画通りであった。

森林関係事業では、荒廃が進んでいた私有林で重点的に整備を行うとともに、丹沢大山地域やその周辺地域でのシカ管理や土壌流出防止対策、ブナ林再生のための調査研究など、様々な取組を進め、全体としては計画通りに進捗していた。この結果、下層植生が回復し、土壌保全が図られるなどの成果が出てきている。今後、森林の公益的機能を持続させるための対策やシカ対策の継続など、解決していくべき課題はあるものの、森林の保全・再生は、概ね順調に進められていると評価できる。

水関係事業では、河川・水路の自然浄化対策、地下水の保全対策、県内ダム集水域における生活排水処理施設の整備促進などを着実に進めてきた結果、河川の自然環境の改善や生活排水処理の進展など、一定の成果が見られている。河川や地下水の保全・再生に関しては概ね計画通りに進捗しているが、水源環境への負荷軽減（県内ダム集水域における公共下水道及び合併処理浄化槽の整備促進、相模川水系・酒匂川水系取水堰の県内集水域（ダム集水域を除く）の合併処理浄化槽の転換促進）に関しては、整備が困難な箇所への対応や各家庭の個別事情など難しい課題も多いため、市町と連携して、より一層の整備促進を図る必要がある。

また、第3期からの新たな取組である水源林の土壌保全対策の強化や、これまでの取組の拡充としてシカ管理捕獲の箱根山地山稜部での開始、水源環境への負荷軽減に向けた支援の拡充など、第1期及び第2期計画の取組や課題を踏まえた事業が始められており、それぞれ一定の成果が出てきている。

事業評価においては、計画目標の達成度と併せて内容面の評価が重要であるため、その結果としてどのような水源環境の変化が見えてきたのかなど、モニタリングの結果をもとに定量的あるいは定性的に総合的な評価を行うことが必要である。

そこで、県民会議では、第3期における総合的な評価（中間評価）ならびに次期計画への意見書の作成に向け、水源環境保全・再生施策に関する県民意見の収集等を図るため、平成30年度に県民参加型のワークショップを開催することとした。

また、水源環境保全・再生事業のあり方として、気候変動による災害頻発への懸念や台風等による災害の発生状況を踏まえ、森林の生育基盤である土壌の保全を図っていくことや、水の十分な管理や水質保持の観点から水と土砂を一体のものとして施策を考えていくことも重要な課題であり、その観点からも県の関係部署において、より一層の情報共有と連携を図り、今後の事業進捗に努めていただきたい。

## 2 事業費実績及び進捗状況一覧

特別対策事業	第3期計画の内容 (5年間計(H29~H33)) (A)	H29年度決算 (B)	進捗率 (B/A)
森林の保全・再生	13,221,000千円	2,776,743千円	21.0%
水源の森林づくり事業の推進 (一般会計分を含めた金額)	6,244,000千円 (12,875,000千円)	1,481,234千円 (2,764,727千円)	23.7% 21.5%
①水源林の確保	2,700ha	746ha	27.6%
②水源林の整備	13,400ha	2,862ha	21.4%
③かながわ森林塾の実施 (新規就労者の育成)	50人	10人	20.0%
丹沢大山の保全・再生対策	1,252,000千円	249,301千円	19.9%
①中高標高域シカ管理捕獲	150箇所	37箇所	24.7%
②ブナ林等の再生	-	-	-
③県民連携・協働事業	-	-	-
土壌保全対策の推進	1,310,000千円	178,038千円	13.6%
①水源林の基盤整備	70箇所	2箇所	2.9%
②中高標高域の自然林	55ha	18.1ha	32.9%
③高標高域の人工林	60ha	11.46ha	19.1%
間伐材の搬出促進	1,550,000千円	296,768千円	19.1%
①搬出事業量	120,000m <sup>3</sup>	24,262m <sup>3</sup>	20.2%
②生産指導事業量	50箇所	11箇所	22.0%
地域水源林整備の支援	2,865,000千円	571,400千円	19.9%
①私有林確保	840ha	150ha	17.9%
②私有林整備	1,360ha	201ha	14.8%
③市町村有林の整備	435ha	118ha	27.1%
④高齢級間伐	100ha	17ha	17.0%
河川の保全・再生	1,490,000千円	226,366千円	15.2%
河川・水路における自然浄化対策の 推進	1,490,000千円	226,366千円	15.2%
①河川・水路の整備	10箇所	4箇所 (新規0箇所) (継続4箇所)	40.0%
地下水の保全・再生	396,000千円	109,800千円	27.7%
地下水保全対策の推進	396,000千円	109,800千円	27.7%
①地下水保全計画の策定	-	-	-
②地下水かん養対策	-	-	-
③地下水汚染対策	-	-	-
④地下水モニタリング	-	-	-
水源環境への負荷軽減	3,483,000千円	643,563千円	18.5%
生活排水処理施設の整備促進	3,483,000千円	643,563千円	18.5%
①公共下水道整備	-	21ha	-
②一般家庭等の高度処理型浄化槽 整備	-	128基	-
③事業所等の高度処理型浄化槽整 備	-	4基	-
④一般家庭の浄化槽転換	-	60基	-
県内水源保全地域の生活排水処理 率	96.0%	94.6%	6.7%
うちダム集水域の生活排水処理率	80.8%	67.5%	9.5%
水源環境保全・再生を支える取組	1,460,000千円	183,198千円	12.5%
相模川水系上流域対策の推進	190,000千円	34,510千円	18.2%
①荒廃森林再生事業	728ha	164.24ha	22.6%
②広葉樹の森づくり事業	10ha	0ha	0.0%
③生活排水対策 (放流水の目標全リン濃度)	0.6mg/l	0.40mg/l	-
水環境モニタリングの実施	1,040,000千円	118,858千円	11.4%
①森林のモニタリング調査	-	-	-
②河川のモニタリング調査	-	-	-
③情報提供	-	-	-
④酒匂川水系上流域の現状把握	-	-	-
県民参加による水源環境保全・再生の ための仕組み	230,000千円	29,829千円	13.0%
①県民会議の運営等	-	-	-
②市民事業等の支援	-	-	-
新たな財源を活用する 事業費の計	20,050,000千円	3,939,671千円	19.6%
個人県民税超過課税相当額	-	4,072,756千円	-

※千円未満切り捨てのため合計は一致しない。

予算執行状況の内訳について

(単位：千円)

	平成29年度 当初予算額	平成29年度 執行額	執行率	第3期5か年 単位当たり 執行額
<b>1 水源の森林づくり事業の推進</b>	1,673,468	1,481,234	88.5%	
水源林の確保【特別会計分】		340,686		1,562千円/ha 10,591千円/ha 1,117千円/ha 11千円/ha
水源林の整備【特別会計分】(森林整備) (管理道、測量・調査等)		784,899		508千円/ha
(水源林事業推進費)		273,058		—
かながわ森林塾の実施		26,770		—
		55,820		5,582千円/人 (新規就労)
<b>2 丹沢大山の保全・再生対策</b>	271,570	249,301	91.7%	
中高標高域におけるシカ管理の推進		164,153		4,436千円/箇所
ブナ林等の再生		37,023		—
県民連携・協働事業		48,124		—
<b>3 土壌保全対策の推進</b>	244,608	178,038	72.7%	
水源林の基盤の整備		37,174		18,587千円/箇所
中高標高域の自然林の土壌保全対策の実施		103,962		5,775千円/ha
高標高域の人工林の土壌保全対策の実施		36,901		3,354千円/ha
<b>4 間伐材の搬出促進</b>	298,026	296,768	99.5%	
間伐材の搬出支援		273,312		11千円/m <sup>3</sup>
生産指導活動の推進		23,456		—
<b>5 地域水源林整備の支援</b>	610,800	571,400	93.5%	
市町村が実施する私有林の確保・整備(市町村)		441,431		2,197千円/ha
市町村有林の整備(市町村)		124,969		1,062千円/ha
森林所有者が実施する間伐の促進(県)		5,000		294千円/ha
<b>6 河川・水路における自然浄化対策の推進</b>	243,800	226,366	92.8%	
生態系に配慮した河川・水路の整備		226,366		56,591千円/箇所
<b>7 地下水保全対策の推進</b>	122,900	109,800	89.3%	
地下水保全計画の策定		0		—
地下水かん養対策		90		45千円/市町
地下水汚染対策		33,100		33,100千円/市町
地下水モニタリング		76,610		7,661千円/市町
<b>8 生活排水処理施設の整備促進</b>	655,798	643,563	98.1%	
公共下水道の整備促進		402,474		19,165千円/ha
一般家庭等の高度処理型合併処理浄化槽の整備促進		178,268		1,392千円/基
事業所等の高度処理型合併処理浄化槽の整備促進		24,623		6,155千円/基
一般家庭の合併処理浄化槽への転換促進		38,198		636千円/基
<b>9 相模川水系上流域対策の推進</b>	38,218	34,510	90.2%	
森林整備(荒廃森林再生事業)		20,000		—
森林整備(広葉樹の森づくり推進事業)		0		—
生活排水対策		14,510		—
<b>10 水環境モニタリングの実施</b>	151,551	118,858	78.4%	
森林のモニタリング調査		110,106		—
河川のモニタリング調査等		8,752		—
<b>11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み</b>	47,303	29,829	63.0%	
「水源環境保全・再生かながわ県民会議」の運営等		22,775		—
市民事業等の支援		7,054		414千円/団体
<b>合 計</b>	<b>4,358,042</b>	<b>3,939,671</b>	<b>90.4%</b>	

※ 千円未満切り捨てのため、合計は一致しない。

平成29年度歳入・歳出の状況

【歳入】		【歳出】	
水源環境保全税の収入 (個人県民税の超過課税) 4,072,756千円		特別対策事業 事業費 3,939,671千円	
基金運用益	26千円	基金等	831,364千円
寄附金	987千円		
預金利子等	300千円	※30年度以降の財源として活用	
基金等	696,965千円		
合計	4,771,035千円	合計	4,771,035千円